令和5年度 福島市立平田小学校経営・運営ビジョン



《教育目標》

今和5年度 目指す児童の姿

○自分の考えをもち表現する子ども

○「なりたい自分」を追究する子ども

○仲間と協働する子ども

○粘り強く努力する子ども

自分で考え 力を合わせ 夢に向かって 最後まで

《地域の願い》

- ・元気なあいさつを続けてほしい。
- ・平田のよさをたくさん知ってほしい。
- ・明るく,たくましく育ってほしい。

《保護者の願い》

- ・しっかりとあいさつの出来る子になってほしい。
- ・思いやりのある子になってほしい。
- ・何事も最後までがんばってほしい。
- ・友達との関わりを大事に,助け合える子になってほしい。

《教師の願い》

- ・「学びに向かう力」を身に付けてほしい。
- ・豊かな人間性を身に付けてほしい。
- ・健康でたくましく育ってほしい。

《子どもの願い》

- 勉強をわかりやすく教えてほしい。
- ・平田のことをたくさん知りたい。
- ・友達となかよく関わりたい。

令和5年度 重点事項

確かな学力の定着

思いやりの心の育成

たくましい心と体の育成

○学ぶ意欲を高める授業の充実

- ・主体的・対話的で深い学び
- ・言語活動を重視した授業展開
- ・指導と評価の一体化を目指す授業実
- ・「福島型オンライン授業」の推進
- ・豊かな自然体験活動の実施,実感を伴 う環境学習
- ○校内研修の充実
- ・表現力の向上
- ・複式学級における指導技法 ・タブレット等を活用した授業実践
- ・外国語科及び外国語活動の研修
- ○読解力・思考力・表現力向上の基礎と なる日常実践
- ・読書活動の充実(10分読書,読み聞か せ等)
- ・基礎を固めるクローバータイムの実施
- ・学期末漢字・計算コンクールの実施・活用型の問題に挑む平田っ子タイムの 実施

- ○あいさつや思いやりの実践につい て指導の充実
- ·あいさつ強化月間 (5月,8·9月,1月)
- ・家庭と連携して取り組む (あいさつカードの利用)
- ・「ありがとう掲示板」の充実 月1回 の放送
- ・感謝の手紙の発信
- ・道徳の授業の充実 (県版副読本の活用)
- ○異学年交流活動の充実
- ・異学年による縦割り班清掃
- ・ふれあいタイムでの縦割り活動の実 施(原則月1回)
- ○奉仕・ボランティア活動の充実
- ・児童会や学級会による奉仕・ボラン ティア活動
- ・できることを自主的に見つけ、実践

- ○運動の習慣化を図る時間や場の確保
- ・「走れ走れタイム」の実施
- ・「なわとびタイム」の実施
- ・体育の授業「運動身体プログラム」の実 施
- ○自己管理能力(健康・体力)の育成
- ・感染症拡大防止対策,指導の継続 ・家庭と連携した健康観察(リーバーの活
- ・担任と養護教諭のT・Tによる健康指導
- ・放射線に関する基礎知識を活用し,放射 線から身を守る実践力の育成
- ・「自分手帳」による自己の健康・体力課 題の把握
- ○家庭・関係機関と連携した教育活動の
- ・学校保健委員会の活性化(基本的生活 習慣の確立・う歯予防・学校医との連携) ・学校歯科医・学校薬剤師と連携したフッ
- 化物洗口の実施 ・栄養教諭と連携した「食に関する指導」

- ○学級マイプランによる学期ごとの評価 ○単元テスト,活用力育成シートによる
- 評価 ○NRT標準学カテスト(国語·算数),全 国学力・学習状況調査,ふくしま学力調 査による評価
- ○児童の意識調査(各種アンケート) ○保護者・学校評議員による学校評価
- ○学級マイプランによる学期ごとの評
- ○児童の意識調査(各種アンケート)
- ○保護者・学校評議員による学校評
- ○交流先や関係機関による感想・評 価

- ○学級マイプランによる学期ごとの評価 ○新体力テストによる評価,カードを活用 した自己記録の更新状況確認
- ○児童の意識調査・生活習慣に関する調 査(各種アンケート)
- ○保護者・学校評議員による学校評価

地域に信頼される学校づくりの実現

【安全・安心な学校づくり】

- ○児童の事故防止:交通教室・防犯教室・避難訓練(地震・ 火災・吾妻山噴火)等の充実
- ○学校事故防止:安全点検の充実
- ○教職員の不祥事絶無:服務倫理委員会の充実
- ○放射線教育の実施
- ○感染症拡大防止対策,指導の継続

【開かれた学校づくり】

- ○積極的な情報発信
 - 学校便り「かけはし」(月1回)・学級だより(月1~2回) 福島市学校ポータルサイト(日1~2回)
- ○学校経営説明の場の設定:PTA総会(4月),フリー参観(11 月), PTA全体会(3月)
- ○学校評議員会の開催(6月,2月)
- ○「ひらサポ」活動(随時)

【体験活動の充実】

- ○地域素材を積極的に活用した体験活動の推進
- ・「育てたい力」の獲得に必要な活動の明確化→全学年,年 間計画を見通した「体験活動実施計画」の作成と実践
- ・「ふくしま・ふれあい・夢ぷらん」事業の充実
- ・地域の学習ボランティアの発掘と累積

【子どもの11年間にわたる成長を見通した幼・保・小・中連接

- 事業の推進】 ○信夫中学校・隣接する小学校との児童・教職員の交流推進
- ・幼・小・中相互の積極的な情報交換と継続的な指導の推進。 ・合同研修・合同生徒指導協議会の実施。
- ○小Iプロブレム防止のための対策推進